



撮影モード S(シャッター優先)  
絞り F20  
シャッター速度 1/1.3秒  
露出補正 -0.7EV  
ISO感度 200  
WB 晴天  
使用レンズ  
M.ZUIKO DIGITAL  
ED 14-42mm F3.5-5.6 EZ  
焦点距離 14mm  
その他 NDフィルター

## POINT 1 卓越した描写性能を誇る最高画質

有効 2300 万画素 Live MOS センサーを搭載し、高解像度とハイダイナミックレンジによる高画質を実現。さらに最新の画像処理エンジン True Pic VIIIにより、暗いシーンでも高い描写力と精緻な解像力を発揮し、最大 4.5 段分の補正効果を発揮するボディ内 5 軸手ぶれ補正で高精度に手ぶれを抑える。



撮影モード A(絞り優先)  
絞り F1.8  
シャッター速度  
1/10000秒  
露出補正 -1EV  
ISO感度 200  
WB 日陰  
使用レンズ  
M.ZUIKO DIGITAL  
25mm F1.8  
焦点距離 25mm

## POINT 2 180度回転するモニターをタッチして自分撮りも思い通りに



小型・軽量で自分撮りに最適。下方に 180 度開くチルト式モニターで、仕上がりを確認しながらスマートな自分撮りができる。大型・高精細なタッチパネルで、直感的なピント合わせが可能に。いつでも、どんなシーンでも、思い通りの自分撮りが楽しめる。

## POINT 3

### スマートフォンと接続して広がる楽しみ方

専用のスマートフォンアプリ OLYMPUS Image Share (OI.Share) を使えば、スマートフォンと Wi-Fi/Bluetooth 接続が可能。スマートフォンからカメラをコントロールしてリモート撮影ができるほか、カメラの電源を切っても画像のバックグラウンド転送が可能。とっておきの1枚が撮れたらすぐに SNS でシェアできる。



撮影モード A(絞り優先) 絞り F2.8 シャッター速度 1/200秒  
露出補正 +1.0EV ISO感度 200 WB 晴天  
使用レンズ M.ZUIKO DIGITAL 25mm F1.8  
焦点距離 25mm

# 撮影前の カメラの準備をしよう

KEYWORD 電池、記録メディア、レンズ装着、日時設定

撮影の前にカメラの準備をしよう。電池はフル充電し、記録メディアを入れるのを忘れずに。レンズを装着して電源を入れたら、最初に日時設定をしよう。

## 1 電池をセットして充電する



電池はカメラに入れて充電する。電源をオフにし、電池/カードカバーロック①を外して電池/カードカバー②を開く。カバー裏にあるイラストに合わせて電池を入れ、電池/カードカバーを閉める。USBケーブルの一方をカメラのマイクロUSBコネクタ③に、もう一方とUSB-ACアダプターを繋いでコンセントに接続する。充電中はCHAR GEランプ④が点灯し、充電が完了すると消灯する。

## 2 記録メディアをセットする



使用できる記録メディアはSD規格の市販のSD、SDHC、SDXCカード。電池をセットするときと同様に電池/カードカバーを開け、向きに注意してカードをロックされるまで差し込む。抜くときは、カードを軽く押すとロックが外れて出てくる。はじめて使うカードは初期化を行う。

## 3 レンズを装着する

カメラの電源がオフになっていることを確認し、レンズのリアキャップとカメラのボディキャップを外す。カメラのレンズ合わせマーク①にレンズの取り付け指標②を合わせ、レンズを差し込む。カチッと音がするまで矢印の方向にレンズを回す③。レンズを取り外すときは、レンズ取り外しボタン④を押しながら、取り付け時と逆の方向にレンズを回す。レンズ着脱の際は、レンズのガラス面、カメラの内部に触らないように注意しよう。



## 4 日付を合わせる



日付は画像とともに記録されるので、撮影する前に正しく設定しよう。電源を入れたらMENUボタンを押してメニューを表示し、[Y]セットアップメニュー①を選択し、[日時設定]②を選択する。△▽<>で日時を設定する③。設定したらOKボタンで確定する。

### ONE POINT

#### カード初期化

新しく購入したカードや他のカメラで使用したカードは、最初に初期化する。カードの書き込み処理能力や記録枚数など、最大限活かせるようになる。全ての画像が消去されるため、内容を確認してから実行しよう。P31の「全ての画像を一括消去」の手順で[カード初期化]①を選択する。



# アドバンスフォトモードで 一歩進んだ撮影をしよう

アドバンスフォトモード(APモード)は**一歩進んだ撮影機能をかたんに使用できるモード**。全9種類の機能を利用することができ、ほとんどの設定はカメラが自動で調整してくれる。撮影者は使いたい機能を選ぶだけでよいので、気軽に活用してみよう。

## 1 アドバンスフォトモードの設定方法



モードダイヤル①をAPに合わせるとアドバンスフォトモードになり、APモードメニューが表示される。◀▶でモード②を選択し、OKボタンで決定する。いくつかのモードはOKボタンを押す前に▽を押すと詳細な設定③ができる。◀▶で設定④を選択し、OKボタンで決定する。APモードの別のモードに変更したいときは、撮影待機状態で⏏(ショートカット)ボタンを押してAPモードメニューを表示する。

## アドバンスフォトモードの種類

<b>ライブコンポジット</b>	全体の明るさは一定のまま、光跡を観察しながら撮影できる。
<b>ライブタイム</b>	設定した時間で長時間露光撮影ができる。
<b>多重露出</b>	2枚の画像を重ねて合成できる。
<b>HDR撮影</b>	明るい部分と暗い部分のどちらも再現した写真を撮影できる。
<b>静音撮影</b>	音や光を発生しないで撮影できる。
<b>パノラマ</b>	通常より画角の広いパノラマ写真を撮影できる。
<b>デジタルシフト</b>	建物や風景の遠近感による画像の歪みを補正できる。
<b>AEブラケット</b>	1回の撮影で、1コマごとに露出を変えて連続撮影する。
<b>フォーカスブラケット</b>	1回の撮影で、1コマごとにピントの位置を変えて連続撮影する。

## 2 ライブコンポジット

Bモードからも選べるライブコンポジット(比較明合成→P50)は**一定時間連続で撮影して明るい部分だけを合成する機能**。暗い部分は暗いまま、明るい部分を明るくすることができる。Bモードのライブコンポジットに比べると詳細な設定はできないが、かんたんにライブコンポジット撮影を楽しめる。



モードダイヤルをAPに合わせる。◀▶で[ライブコンポジット]を選択し①、OKボタンで決定する。



シャッターボタンを全押しするとノイズリダクション用の画像を取得し、自動的に撮影を開始する。一定時間ごとに合成された画像がモニターに表示される②ので、適度な明るさになったら再度シャッターボタンを押して撮影を終了する。



夜に走行する車を撮影した。すぐに撮影を開始できるので、カメラを固定するものさえあれば気軽に光跡撮影を楽しめる。

### ONE POINT

#### Bモードのライブコンポジットとの違い

APモードのライブコンポジットでは、ISO感度はオートに固定され、露出補正ができる。Bモードでは、ISO感度と絞り値を変更でき、露出はそれに準じて変化する。また、Bモードではメニュー画面の[カスタムメニュー] - [D2. 露出/ISO/BULB]で詳細な設定ができる。

## マクロレンズを使ってみよう

マクロレンズの特徴は、小さな被写体を大きく撮影できること。M.ZUIKO DIGITAL ED 30mm F3.5 Macroは等倍を超える1.25倍での撮影が可能。**等倍**とは撮影倍率を1:1(1倍)で撮影することで、被写体と同じ大きさの像がセンサーに写る。このレンズの倍率は35mm判換算で2.5倍という数値になり、数あるマクロレンズ中でもトップクラス。**最大撮影倍率が大きいレンズほど被写体を大きく写せる。**

## 1 マクロレンズの活用ポイント

マクロレンズで直径4cm程度の懐中時計を等倍で撮影すると、画面いっぱいに捉えられ、被写体のディテールがよくわかる写真になる。M.ZUIKO DIGITAL ED 30mm F3.5 Macroは高速で静かなオートフォーカスにより、マクロ撮影でもすばやいピント合わせが可能だ。



**カメラ設定** 撮影モード A(絞り優先) 絞り F5.6 シャッター速度 1/50秒  
露出補正 -0.7EV ISO感度 200 WB 曇天  
使用レンズ M.ZUIKO DIGITAL ED 30mm F3.5 Macro 焦点距離 30mm

## 2 マクロレンズを使いこなそう

マクロ撮影は被写界深度が浅く、背景をきれいにぼかすことができる。被写界深度が浅い反面、ぼけが大きいので、全体にピントを合わせる場合には絞り込む必要がある。



**カメラ設定** 撮影モード A(絞り優先) 絞り F3.5 シャッター速度 1/100秒  
露出補正 +0.7EV ISO感度 200 WB 晴天  
使用レンズ M.ZUIKO DIGITAL ED 30mm F3.5 Macro 焦点距離 30mm

## ONE POINT

## 小さな被写体をくっきり撮れるマクロレンズ

小さなものを大きく撮影することができるマクロレンズは、いつもとは違った視点で被写体を捉えることができる。近距離撮影時の大きくぼける特性を生かせば、被写体が浮き立った、より印象的な写真となる。等倍撮影時は被写界深度が浅くピント合わせがシビアになるため、三脚を使うとよい。



M.ZUIKO DIGITAL  
ED 30mm F3.5 Macro  
(35mm判換算/60mm相当)

## まとめ

- 小さな被写体でも、大胆に寄って大きく写せる。
- 等倍撮影や近接撮影時には、ピント合わせがシビアになるため、三脚を使うのがおすすめ。

## Section

## 01

# 雰囲気のある美しいポートレートを撮る

## KEYWORD

逆光、露出補正、アートフィルター、単焦点レンズ、望遠レンズ

女性を美しく撮影するときのポイントは光の向きだ。光の向きは**順光**、**サイド光**、**逆光**の3つに分類される。女性ポートレートは逆光を選ぼう。順光は光が直接あたるため、眩しい表情になってしまい、サイド光は一方から光があたるので、顔に影ができやすい。また曇りの日は光が安定しているため、どの方向からでも撮影がしやすい。



## 逆光で露出補正をプラスにして撮る

まずは**逆光**の向きで印象的な背景になるようにロケーションを選ぼう。しかし、逆光は背後から光があたっている状態のため、顔が暗くなってしまう。そこでポイントになるのは露出補正だ。**顔が明るくなるまでプラスに補正**することで、全体的に光がまわり、優しい雰囲気仕上がる。また直接光があたった髪がキラキラとして、さらに美しく表現することが可能だ。

カメラ設定  
撮影モード A(絞り優先) 絞り F5.6 シャッター速度 1/80秒  
露出補正 +0.7EV ISO感度 200 WB 晴天  
使用レンズ M.ZUIKO DIGITAL ED 40-150mm F4.0-5.6 R 焦点距離 150mm

## 1 ヴィンテージを使って雰囲気をプラスする



アートフィルターの**ヴィンテージ**には3タイプのフィルター効果があり、イメージに合わせて選ぶことが可能だ。いずれも昔の映画のワンシーンのような雰囲気のあるポートレートに仕上げるができる。写真はヴィンテージのタイプIを使って撮影した。

カメラ設定  
撮影モード A(絞り優先) 絞り F1.8  
シャッター速度 1/2000秒 露出補正 +0.3EV  
ISO感度 200 WB 晴天  
使用レンズ M.ZUIKO DIGITAL 45mm F1.8  
焦点距離 45mm  
その他 アートフィルター：ヴィンテージ(タイプI)

## 2 背景を大きくぼかして表情を際立てる

背景を大きくぼかしたいときは単焦点レンズなどの**F値が小さなレンズ**や**望遠レンズ**を使おう。その場合はしっかりと人物の目にピン트가合うように**顔優先/瞳優先AF**を使うと便利だ。手前の目を優先してピントを合わせてくれる。



カメラ設定  
撮影モード A(絞り優先)  
絞り F1.8  
シャッター速度 1/640秒  
露出補正 +0.7EV  
ISO感度 200  
WB 晴天  
使用レンズ M.ZUIKO DIGITAL 45mm F1.8  
焦点距離 45mm

### まとめ

- 逆光で露出補正を明るくすることで、優しい印象に。
- 背景を大きくぼかしたいときは、F値の小さな単焦点レンズや望遠レンズを使う。

# 撮影した写真をスマートフォンに転送しよう

KEYWORD OI.Share、シェア予約

Wi-Fi/Bluetooth機能を使えば、E-P7で撮った写真をいつでもスマートフォンやタブレットに転送できる。友人と出かけたときに撮った写真をシェアしたり、SNSにアップロードしたりするのもぐっとかんたんになる転送機能を使いこなそう。

## 1 カメラで撮影した写真を転送する

OI.Shareを使えば、カメラで撮影した画像を自分のスマートフォンに転送したり、SNSにアップロードしたりすることができる。ただし、RAWは転送できないので、あらかじめカメラ内でRAW編集(→P164)しJPEGにして保存しよう。



スマートフォンでOI.Shareを起動して、E-P7と接続したら、[写真転送]①をタップする。カメラ内に保存された画像が一覧となって表示される②。スマートフォンで転送するには、写真の右上の○をタップして選び、右下に表示される■をタップする③。[取り込み]と[シェア]の選択画面が表示されるので、実行したいほうをタップする。

## 2 写真を自動的に転送する

[シェア予約]を使うと、カメラの電源を切った後、予約した画像が自動的にスマートフォンに転送される。あらかじめスマートフォンとカメラの無線接続を設定し、[Wi-Fi/Bluetooth]と[バックグラウンド通信]を[On]にしておく(→P171)。スマートフォンはBluetoothを起動しておく。



再生時のボタン機能に[シェア予約]を割り当てる(→P155)。再生モードでJPEG画像表示中にムービーボタン①を押すと、画面右上に[シェア予約]のマークがつく。インデックス再生で複数の画像を同時に予約することもできる。RAW画像はシェア予約できない。

カメラの電源を切る。約1分後、OI.Shareの[写真転送]をタップすると、シェア予約した画像が表示されるので③、右下の■をタップし④、[取り込み]をタップすると画像が取り込まれる⑤。

## ■ シェア予約を解除する

シェア予約を解除するには、再生モードで解除したい画像を表示して、予約時と同じように[シェア予約]画面で△▽を押して解除する。一括で解除したいときは、メニューの[再生メニュー]①-[全シェア予約解除]②でOKボタンを押し、[実行]を選択してOKボタンを押す。

### ONE POINT

#### iOS 使用時の注意

スマートフォンがiOSの場合、あらかじめスマートフォンでOI.Shareを起動しておく必要がある。また、Wi-Fiルーターなど、すでに他のアクセスポイントに接続しているときは自動で接続されない。そのようなときはスマートフォンのWi-Fi設定を開き、ネットワークの設定から接続するカメラの機種名を選択する。

### まとめ

- カメラのWi-Fi機能を使えば画像の転送とシェアがかんたんにできる。
- カメラの電源がオフでも画像を転送できる。